

帰山議員

恐竜と勝山の観光振興について

問勝山恐竜の認知度向上・新幹線金沢延伸に対する対策を伺う。

答勝山市の認知度を上げるための戦略として非常に重要なのが内容充実かつ魅力ある情報を的確に発信していくこと。福井県勝山市を

全国に知っていただくには仕掛けが必要で、今年4月、中尾彬、池波志乃夫妻に「勝ち山おろしそば観光大使」に就任していただいた

際には、多くのマスコミに取り上げられ観光促進、経済効果に大きく寄与している。勝山市は、全国の恐竜化石の8割を発掘、世界で有数の恐竜博物館があるなど、ウェブサイトの魅力を図る戦略により、勝山市及び恐竜の認知度を高めていきたいと考えている。

北陸新幹線金沢延伸による誘客については、福井県全体の魅力を高める取り組みが非常に重要であるとの考えから、県は「福井県新高速交通ネットワーク活用・対策プラン」を策定し、それを基に県と市町が協働し、福井県のイメージアップとブランドイメージの構築に取り組んでいる。現在、県と市町では既存の観光素材や新たな

その他の質問
・今後の施策展開について
・生活排水の水質の維持管理について

観光素材の収集整理を進めており、これらの素材は来年度以降のJRの北陸デスティネーションキャンペーンや新幹線金沢開業関連のキャンペーンに活用していく。今後、勝山市、福井県の魅力を的確に情報発信するとともに観光施設等の魅力アップの取り組みを行うっていく。

用水利用と整備について

問農業用水の整備負担、及び用水量確保について対策を伺う。

答農業者による農業用水の維持が困難な場合には、農業者より負担金をいただき、補助事業を行っている。また、農業者の負担軽減を図るため、国庫補助事業である農地・水環境保全対策や中山間直接支払いなどの事業を効率よく活用しているところである。

特に、生活用水が占める割合が多いたるところについては、維持管理に対する負担を軽減するよう建設部と連携を図り、関係受益者と協議をしていく。



勝山新大用水

北川議員

子ども・子育て関連3法について

問この度の社会保障と税の一体改革の一環として、「子ども・子育て関連3法」が成立した。趣旨は、幼児期の学校教育・保育、地域の子ども・子育て支援を総合的に推進することであり、大事なことは支援策を実施する主体は勝山市だということである。国の動向を見極めつつ、できる限り速やかに新制度を導入するため、2点について伺う。

①「地方版子ども・子育て会議」について

②「子ども・子育て支援事業計画」の取組みについて

答①「子ども・子育て支援事業計画」の策定や、子育て支援策の実施に係る把握や点検等に広く意見をいただき、この計画や支援策を有効なものにするために新年度早期に設置したいと考えている。

②計画の策定にあたっては、ニーズ調査の結果をもとに、事業内容が地域における子ども・子育て支援に反映できるよう、子育て環境日本一を目指して取り組みたいと考えている。

その他の質問
・奥越特別支援学校について
・市内の学校における特別支援学級について

福祉用具購入費・住宅改修費の受領委任払い制度の導入について

問本格的な超高齢化を迎える中で、住み慣れた地域や家庭で安心して暮らせる、さらなる施策の充実を図るため、介護保険での福祉用具購入や住宅改修の支払いを「償還払い」から、利用者が自己負担の1割を事業者に支払い、残金は市から事業者を支払われる「受領委任払い」を導入すべき。当市の見解を伺う。

答現在、介護保険での福祉用具購入費及び住宅改修費については、利用者がいったん費用の全額を支払い、その後市に申請をして、市が対象経費の9割分を利用者に支払う、いわゆる「償還払い」を原則としている。受領委任払制度については、低所得者の一時的な費用の負担を軽減するという観点により、先進自治体の取り組みなどを参考に検討してまいりたい。

